



Kumamoto City

News Release

令和 8 年（2026 年）9 月 28 日

「行幸橋」の歩道を広げる社会実験 ～歩行者の安全性及び快適性の向上を図ります～

熊本城への主要なルートである「行幸橋」は、近年のインバウンド需要の高まりなどから多くの歩行者が通行しており、車道へはみ出して通行する危険な状況が生じています。

令和 8 年（2026 年）10 月からの「秋のくまもとお城まつり」など、更なる観光客や市民の皆様の通行増加が見込まれます。

行幸橋における歩行者の安全性及び快適性の向上を図るため、道路空間の再配分による歩道拡幅の社会実験を行いますのでお知らせいたします。

記

1. 実施時期 令和 8 年（2026 年）10 月 1 日（木）
～令和 8 年（2026 年）11 月 3 日（火）【予定】
2. 実施場所 行幸橋
3. 実施内容 城彩苑から市民会館方面へ向かう行幸橋の 2 車線のうち左折レーンを歩道として広げます。

【お問い合わせ先】

市街地整備課

電話：096-328-2537

課長：永田 大治（ながた たいじ）

担当：福田 淳（ふくだ じゅん）

1.社会実験の目的

- 熊本城への主要なルートである「行幸橋」は、近年のインバウンド需要の高まりなどから、多くの歩行者が通行しており、車道へはみ出して通行する危険な状況が生じています。
- 令和8年10月からの「秋のくまもとお城まつり」など、更なる観光客や市民の皆様の通行増加が見込まれます。
- 行幸橋における歩行者の安全性及び快適性の向上を図るため、道路空間の再配分による歩道拡幅の社会実験を行います。

2.実施時期

- 令和8年(2026年)10月1日(木)～令和8年(2026年)11月3日(火) (予定)

3.実施内容

- 城彩苑から市民会館方面へ向かう行幸橋の2車線のうち左折レーンを歩道として広げます。

